

SKYMENU 活用授業 実践レポート

お名前	後藤 高裕	学校名	北九州市立皿倉小学校
実施学年	第3学年	教科	総合的な学習の時間
单元名	「皿倉」の町のじまん発見隊になろう！		

《学びを深めたいポイント》

自身が住んでいる町のことに興味・関心をもたせるため、「町のじまん発見隊」ということで、インタビューや調べ学習を通して、自身の住んでいる町のよさを学習していきたい。

また、その中で友達と共有したり、話し合いをしたりして、「皿倉」の町に愛着をもった子供の育成を図りたい。

SDGs の「住み続けられるまちづくりを」に関連している。

《SKYMENU 活用のポイント》

個人で考え、ペアで考えたことをグループで共有できるように SKYMENU 活用を行った。また、インタビューする際に動画や写真を紙に書くのではなく、タブレット上で分かりやすく説明ができる良さがあった。

SKYMENU 活用で視覚的に捉えることができ、この後につながるプレゼンを円滑に作ることができた。

《実践内容》

	学習活動	SKYMENU 活用場面	活用のポイント
導 入	○みんなはどこに住んでいる？ ○「皿倉」ってどんな町？そして、「皿倉」の町のじまんはなに？		
展 開	学習問題 「皿倉」の町のじまん発見隊になろう！		
	・皿倉の町には、「人」「もの」「こと」の大きく3つに分けて自慢できることがあった。 そこから、個人で町の自慢を見つけたり、調べたり、インタビューを行った。	○3つに分けてタブレットに記述後、グループで共有を行った。	○分けているため、視覚的に分かりやすさがある。 ○グループで共有しやすく、友達の考えを深めることができる。
ま と め	○グループ分けをして（人グループ・ものグループ・ことグループ）、一人一個のプレゼンを作り、全体に発表を行った。	○「シンプルプレゼン」を活用して、プレゼン作成を行った。	○写真や動画など、町のよさをプレゼンにすることで、3つの視点を分かりやすくまとめることができた。

《実践を振り返って》

調べ学習やインタビュー、プレゼンまでをタブレット一台（SKYMENU）で行うことができた。そのおかげで、児童は積極的に学習に参加し、町のよさを理解することができたと考えます。また、総合的な学習の時間最初ということで、学び方も児童が分からない、理解できないと不安に思っていました。課題を見付け、その課題を解決するべく、今回の活用は有意義な学習につながっていったと思います。最後に、シンプルプレゼンをしたことで、プレゼン荷も興味をもち、「もっとプレゼンをしたい」、「夏休みの思い出もプレゼンを使ってみんなに紹介したい」などの声をたくさん聞くことができた。プレゼン力はこれからの時代、とても大切な力であると考えます。その力を、小学校高学年ではなく、3年生からできたというのは、子供たちにとって自身につながったと考えます。間違いなく、SKYMENU さんの操作のしやすさは子供たちにとって助かっています。そして、私自身助かっています。

ありがとうございました。



